

事故やケガ、器具の破損などを防ぎ安全に正しくご使用いただくために
注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は大切に保管してください。

・製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
・本品に関するアフターケアは日本国内のみの対応となります。
内容に関わらず、日本国外では対応できませんのであらかじめご了承ください。

ご使用前に

- パーツ類の破損や割れがないか確認する。
(破損が見つかった場合は、使用しないでください。)
- 革手袋など耐熱性の手袋を使用する。
- 緊急消火用の水をバケツなどに入れておく。

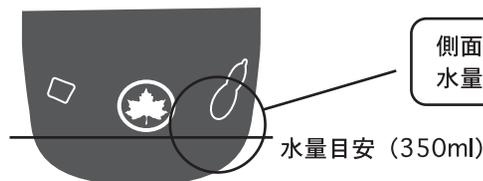
ご使用方法

1. 本体を設置する。

※テーブルに直接置いてご使用いただけますが、燃料の量や燃焼具合によっては、テーブル面に熱が伝わります。高い熱が伝わるとテーブルの焦げや溶けにつながるため、必ず耐熱性の高いテーブルで使用するか、焦げても良い木の板、LOGOS ヒートブロックマットなどの上に置いてご使用いただき定期的に木の板やヒートブロックマット越しにダメージを受けていないか確認してください。熱による設置面の焦げやダメージに対する保証は一切致しかねますのでご了承ください。

2. 本体に水を入れる。(350ml)

※水が設置面に対しての断熱効果を生み出します。使用中、本体内の水は時間とともに蒸発します。こまめに本体側面の穴から水量を確認し、適宜水を足してください。水を足す際は必ず耐熱性の高い手袋をご使用ください。

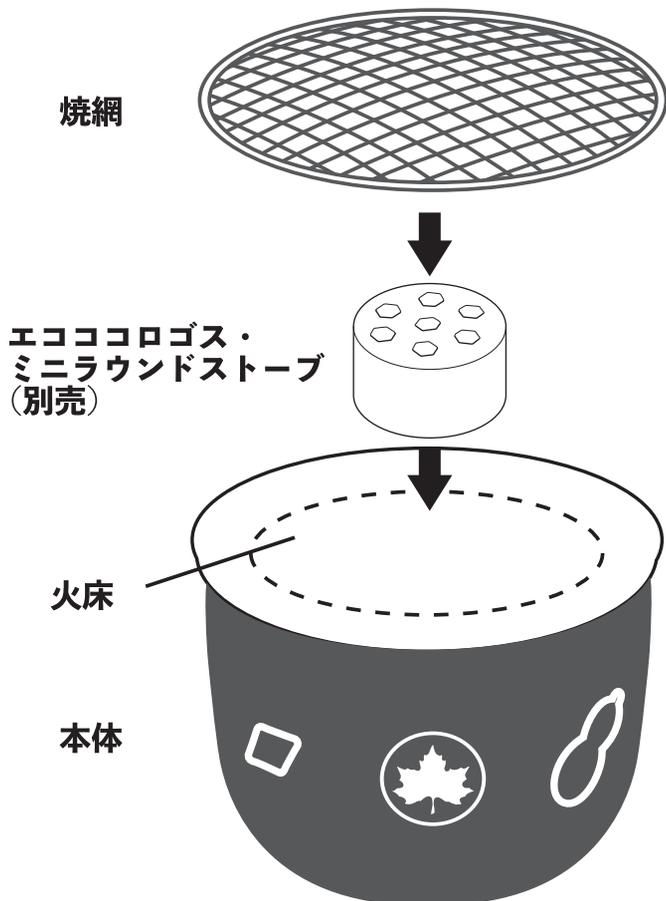


3. 火床と燃料をセットする。

※一般的な炭も使用できますが、着火しやすいエコココログス・ミニラウンドストーブ(別売)をおすすめします。ご使用の際は、エコココログスの取扱説明書にしたがって着火してください。

4. 焼網をセットする。

※着火後に焼網をセットする場合には、必ず耐熱性の高い手袋をご使用ください。



お手入れ方法

- 柔らかなスポンジを使用し、食器用洗剤で洗う。
- スチールたわしも使用できますが、ロゴが削れるおそれがあります。ご了承ください。

※酷い焦げや汚れは完全に落とすことができません。
※ハイターは使用しないでください。
陶器がハイター液を吸い、染み出す場合があります。
※食洗機は使用しないでください。割れや欠けに繋がります。

使用上のご注意

火災のおそれ

- 水コンロ本体には必ず水を入れてご使用ください。水を入れることでコンロ設置面への加熱が軽減されます。水がない状態や少ない状態で使用すると設置面が過度に加熱されます。(設置面を焦がしたり、火災につながるおそれ)
- 本体周辺に、プラスチック製品などの熱に弱いものを近づけないでください。(耐熱テーブルによっては、一部のパーツが非耐熱性場合があります。)
- 着火剤や燃料の代わりにガソリン、灯油、ガス、アルコールなどを使用しないでください。
- 屋内やテント内、タープの下では使用しないでください。(火災や一酸化炭素中毒のおそれ)
- 残り火の始末や灰の処理、本体の分解は、完全に燃え尽きて本体が冷えたことを確認してから行ってください。
- 強風時は使用しないでください。
- 燃料を入れすぎないでください。火床に入れる炭の量は正常に焼き網をセットできる量までとしてください。(炎が高く上がったり、本体の変形・変色のおそれ)
- 起伏や傾斜がない所に設置し、必ず安定した状態で使用してください。

やけど、けがのおそれ

- 本体は陶器です。落としたり、ぶつけたりすると割れたり欠けたりします。取り扱いには十分ご注意ください。
- 陶器は急激な温度変化に弱いため、冷えた状態からの急激な加熱や熱を持つ状態からの急激な冷却にはご注意ください。割れに繋がる恐れがあります。
- 着火後は、本体を移動させないでください。また、絶対に素手で触らないでください。
- 着火後は、顔などを近づけないでください。また、燃えやすい物の周りで使用しないでください。(炭がはぜたり火の粉などが飛ぶおそれ)
- 焼網に調理器具等を載せる時は、載せるものが安定していることを確認してから使用してください。(不安定な状態で使用すると、倒れて火災ややけどのおそれ)
- お子様やペットを本体の周りで遊ばせないでください。
- お子様には、本体の組み立てや撤収をさせないでください。
- 組み立て、分解、着火、消火、調理、お手入れ、片付けの際は革手袋などを着用し、やけどや鋭利な部分でのけがなどにご注意ください。
- 本体に水をかけて消火しないでください。(急激な温度変化による破損のおそれ、また高温の水蒸気が発生し、やけどのおそれ)
- 鋭利な部分があるため洗浄時は、ゴム手袋などを着用してください。

おことわり

- 陶器の特性上、本体に入れた水が底面から染み出てくる場合がありますが異常ではございません。濡れても問題がない場所に設置してご使用ください。
- 水の染み出しが気になる場合は、市販の陶器用目止め剤をご使用ください。